

南砺市 女性グループ 名産品を6次化



中山間タイムズ

10年住み続ける、わがまち（むら）づくりのお手伝い

第7号
(7月31日)

発行
富山県
中山間地域対策課
お問合せ
076-444-4578



南砺市高宮の「みかくグループ」（高島文子・代表）が干し柿を加工した「柿娘」の生産に取り組んでいる。同グループは同市の女性生産者たち十一人で一九七八年に結成され一九八〇年より生産に取り掛かった。

この「柿娘」は干し柿のヘタと種を除きユズを入れて巻いたもので、干し柿の食感や甘さに加えて上品なユズの香りや味が特徴。

通常毎年年末に出荷がピークとなる干し柿は三月末が賞味期限となる。そこで多くの人に同地の名産品である「干し柿」の魅力を通年味わつてもらおうと冷凍保存と真空パックで買い上げ後は冷蔵庫で約二カ月保存できる仕様とした。

グループのメンバーは「先輩たちの情熱や意志を引き継ぎ心を込めて作っています。是非ご賞味ください」と話している。

同品は、市内の道の駅やWEB・shopなどで販売されている。



令和六年度「話し合い事業」始まる

六月十二日、東太美地域（南砺市）で本年度初の「話し合い事業」がスタートしました。

この事業は令和元年からスタートし、昨年度まで県内四十か所の地域で実施されており、今年度は新たに十か所の実施が予定されています。

「住んでいると気づきにくい事に気づかされた」、「様々な考えがあることがわかり勉強になった」、「今まで知らなかった人と知り合えた」など好評を得ています。

来年度、この事業を地域活性化に取り入れようとお考えの地域はお気軽に当課へお問い合わせください。（電話 〇七六・四四四・九六〇七）



★地域コンシェルジュ新人Nが、ちよっこしお邪魔しました

中山間地域チャレンジ支援事業「魅力いっぱいー山崎」(朝日町)

山崎いきいき健康フェスティバル

六月三〇日、朝日町やまぎき紅悠館にて「山崎いきいき健康フェスティバル」が開催されました。**チャレンジ三年目の山崎地区のアクションプラン**は次の三点。
①伝統行事等の地域文化の継承（各町内の祭りを地区全体で共同実施）
②長寿環境（一〇〇歳体操やフレイル活動）を地域ぐるみで推進
③山崎の四季を体感できるイベントを開催（今回は②を実施）



山崎自治振興会 草原庄一会長

草原会長はこのフェスティバル開催後、山崎地区の伝統芸能「盆踊り」の唄と囃子を学ぶ講座を五回実施し、若手への継承を実施、一〇月二〇日開催の「朝日町町制七十周年記念山崎敬老会・山崎の祭り」と伝統芸能発表会にてその成果を発表すること。チャレンジ総仕上げとして①の祭りの音源の録音（保存）を完了させると意気込んでおられます！

◆朝日町健康課の指導による一〇〇歳体操

皆さんウエイトを持参され、四五分間にわたりパワフルに体を動かされました。運動不足の小生はウエイト無しでも汗だくになりました(笑)



◆山崎駐在所より「特殊詐欺防止」と「カギ掛け運動の取組」についてお話しいただきました。



◆皆様お楽しみみの桂米 福師匠による認知症予防落語会。昨年度に引き続き山崎地区では二回目の公演とのこと。富山弁の即興落語と古典落語をたっぷり楽しませていただきました。

皆様お楽しみみの桂米福師匠による認知症予防落語会。昨年度に引き続き山崎地区では二回目の公演とのこと。富山弁の即興落語と古典落語をたっぷり楽しませていただきました。



お土産 朝日町山崎伝統料理「みそかんぱ」

朝日町 伝統料理
みそかんぱ

潰したご飯を両面焼いて、胡麻味噌がたっぷり塗ってあって、とてもおいしい！

井波と共生する瑞泉寺

真宗大谷派井波別院瑞泉寺の門前町南砺市井波では、地元の人たちが、瑞泉寺が国の文化財に指定されることを目指して活動に取り組んでいます。瑞泉寺と共生する井波の町はこれまで瑞泉寺と共に発展し、これからも瑞泉寺の歴史や遺産を未来に継承して発展する町を目指しています。

瑞泉寺の成り立ち

真宗大谷派井波別院瑞泉寺の門前町南砺市井波では、地元の人たちが、瑞泉寺が国の文化財に指定されることを目指して活動に取り組んでいます。瑞泉寺と共生する井波の町はこれまで瑞泉寺と共に発展し、これからも瑞泉寺の歴史や遺産を未来に継承して発展する町を目指しています。

瑞泉寺の成り立ち

真宗大谷派井波別院瑞泉寺の門前町南砺市井波では、地元の人たちが、瑞泉寺が国の文化財に指定されることを目指して活動に取り組んでいます。瑞泉寺と共生する井波の町はこれまで瑞泉寺と共に発展し、これからも瑞泉寺の歴史や遺産を未来に継承して発展する町を目指しています。



瑞泉寺の成り立ち

白浪水

一八七九年にも焼失しましたが、継承された優美な彫刻とともに再建されて今日に至ります。

井波の町は、令和六年に開町六三四年を迎え、古くから瑞泉寺の門前町として栄え今日に至ります。

瑞泉寺山門

令和四年には地元の皆様が「井波別院瑞泉寺未来継承推進委員会（島田勝由会長・委員五六名）」を立ち上げました。文化財の昇格を目指して、地域の機運の醸成、講習会・講座で瑞泉寺の素晴らしい部分を地域住民や多くの方に広く知ってもらう活動を行っています。島田会長は「井波の住民の方々とともに、もっと多くの瑞泉寺ファンを増やし、瑞泉寺を愛する人を創り、育てることを目指して総意を形成中」と話されます。



瑞泉寺本堂



文化財の指定には、経済的な支援ばかりでなく、瑞泉寺の環境を整えるためのマンパワーが必要なのです。

地域の人たちは、瑞泉寺との共生を図り、井波の活性化とさらなる繁栄を目指して日々努力しておられます。瑞泉寺が広く世に知られて、さらに多くの人が井波の町を訪れて町の賑わいにつながり、瑞泉寺を核として観光・交流人口・移住者の増加など、町のにぎわいにつながることが期待してやみません。

ひまわりと 新幹線

夏の風物詩

上中島地域（魚津市）

中山間地域の耕作放棄地、休耕地、夏の風物詩と言えばひまわり畑が定番、当たり前田のクラッカー。

県内の代表的なところでは城端桜ヶ池クアガーデン、氷見の柳田、黒部の前沢など、いろいろなどところで栽培されている。大きな本数を誇る迫力であったり、迷路があったり、能登半島を一望できる高台など栽培されるロケーションであったりと鑑賞、楽しみ方もいろいろ。

今回、ご紹介する魚津市浅生のスーパー農道沿いのひまわり畑はちよこし他とはロケーションが変わっている。栽培規模は大きいとは言えないが、タイミングが良ければ、ひまわりと新幹線、鉄道風景写真が撮れるスポット。

上中島地域は2019年に「上中島みらい会議」を実施、そこで複数作られたアクションプランのひとつ新名所の開拓（ひまわりの花を植える）が始まり。「上中島お花いっぱいプロジェクトin浅生」として今年は、六月十六日に親子連れら四十八名が参加し種を蒔いた。今年には生育をよくするため畦を作った。上中島コミュニティセンターの入り口には「ひまわりの大きな観察日記」が掲示されており、日々、成長が確認できるようにになっている。

天候にもよるが満開、見ごろは8月のお盆の頃。時刻表を調べて、ひまわりと新幹線のベストショットを狙ってみるのはどうだろうか。熱中症にはくれぐれも注意。

※特に駐車場はないので、近隣住民に迷惑のかわらないようご配慮ください。場所は魚津江魚津線 浅生交差点横の休耕地。

私はというところ、ひまわりと三つ葉、ソフィア・ローレン主演のイタリア映画「ひまわり」（1970年）が即、思い浮かぶ。（世代がわかるな）第2次世界大戦により引き裂かれた夫婦の悲しい物語、名作ですよ。